

# 看護職者の教育力開発支援センター 現職者支援部門

### 患者指導を考える —患者の目標と指導実践の立場から—

と き：平成20年12月2日(土) 12:30～19:00  
と ころ：弘前大学大学院保健学研究科 24講義室  
定 員：30名 申し込み先着 締め切り11月14日(次)  
参加費：無料

**2007.3.6**

講師：札幌に計けしベテラン看護者のための患者指導  
12:30～13:00  
専攻員 中川 尚子  
専攻員 中川 尚子 講師 中川 尚子

講師：高齢化社会における看護実践  
13:00～13:30  
専攻員 中川 尚子 講師 中川 尚子

講師：看護実践と患者の目標設定  
13:30～14:00  
専攻員 中川 尚子 講師 中川 尚子

講師：看護実践と患者の目標設定  
14:00～14:30  
専攻員 中川 尚子 講師 中川 尚子

講師：「にこい」による生活の変化  
14:30～15:00  
専攻員 中川 尚子 講師 中川 尚子

ディスカッション 15:00～15:30

申し込み先着 締め切り11月14日(次)  
申し込み先着 締め切り11月14日(次)  
申し込み先着 締め切り11月14日(次)

### セミナー 患者・家族指導のスキルを高める

と き：平成20年 12月16日(土) 17:30～19:00  
と ころ：弘前大学大学院保健学研究科 24講義室  
定 員：30名 申し込み先着 締め切り11月14日(次)  
参加費：無料

**プログラム**

1. 患者指導のスキルを高める(17:30～18:20)

- 患者指導のスキルを高めるための実践について  
—実践的・具体的な指導法に焦点を当てて—  
専攻員 中川 尚子 講師 中川 尚子
- 患者指導のスキルを高めるための実践について  
—実践的・具体的な指導法に焦点を当てて—  
専攻員 中川 尚子 講師 中川 尚子

2. ディスカッション(18:20～19:00)

3. 現職者の教育力開発支援センター  
(現職者支援部門) 研究発表の機会(18:45～19:00)

申し込み先着 締め切り11月14日(次)  
申し込み先着 締め切り11月14日(次)  
申し込み先着 締め切り11月14日(次)

### セミナー 保健指導スキルを高める 高齢者が元気になる保健指導

と き：平成21年11月7日(土) 14:00～19:30  
と ころ：弘前大学大学院保健学研究科 24講義室(2F) (弘前市本町66-1)  
参加費：無料(事前申し込み必要) 申し込み締切 10/20(金)

**プログラム**

14:00～14:45 平川市における介護予防の取り組み  
—在宅介護改善を目指した個別指導の実践—  
平川市市民生活部福祉 保健課 岡本 洋子 氏

14:45～15:20 質疑応答、ディスカッション  
「高齢者が元気になるための保健指導」に焦点を当てたディスカッションを行います。

15:20～15:30 講評(まとめ)

申し込み先着 締め切り10月20日(金)  
申し込み先着 締め切り10月20日(金)  
申し込み先着 締め切り10月20日(金)

### セミナー、患者指導スキルを高める 「産科領域における保健指導」

と き：平成21年3月10日(火) 17:30～19:00  
と ころ：弘前大学大学院保健学研究科 地域看護学演習室 (弘前市本町66-1)  
参加費：無料(事前申込返 締切 2/27(金))

**プログラム**

1. 産科領域における保健指導(17:30～18:15)

- 当院における参加型母性看護の取り組み  
国立病院機構弘前病院 助産師 長尾 愛佳氏  
三浦 初枝氏
- 参加型マタニティクラスの成果と課題  
弘前大学医学部附属病院 母性専門看護師 工藤 優子氏

2. ディスカッション(18:15～18:45)  
3. 講評(まとめ)(18:45～19:00)

申し込み先着 締め切り2月27日(金)  
申し込み先着 締め切り2月27日(金)  
申し込み先着 締め切り2月27日(金)

### セミナー 高齢者指導スキルを向上させるための研修実践の発展と 自己啓発プログラムの開発 —患者の目標と指導実践の立場から—

日時：平成22年6月11日(土) 13:30～19:30(受付13:00～)  
場所：弘前大学大学院保健学研究科 4階 24講義室  
(弘前市本町66-1 弘前大学医学部附属病院裏)  
定員：40名

**プログラム**

13:30～13:45 開会式  
13:45～14:00 高齢者指導のスキルを高めるための実践について  
—実践的・具体的な指導法に焦点を当てて—  
専攻員 中川 尚子 講師 中川 尚子

14:00～14:30 高齢者指導のスキルを高めるための実践について  
—実践的・具体的な指導法に焦点を当てて—  
専攻員 中川 尚子 講師 中川 尚子

14:30～15:00 ディスカッション  
15:00～15:30 講評(まとめ)

申し込み先着 締め切り5月14日(次)  
申し込み先着 締め切り5月14日(次)  
申し込み先着 締め切り5月14日(次)

### セミナー 患者指導スキル向上のための インタープロフェッショナルワーク

と き：平成21年11月7日(土) 14:00～19:30  
と ころ：弘前大学大学院保健学研究科 24講義室(2F) (弘前市本町66-1)  
参加費：無料(事前申し込み必要) 申し込み締切 10/20(金)

**プログラム**

14:00～14:45 平川市における介護予防の取り組み  
—在宅介護改善を目指した個別指導の実践—  
平川市市民生活部福祉 保健課 岡本 洋子 氏

14:45～15:20 質疑応答、ディスカッション  
「高齢者が元気になるための保健指導」に焦点を当てたディスカッションを行います。

15:20～15:30 講評(まとめ)

申し込み先着 締め切り10月20日(金)  
申し込み先着 締め切り10月20日(金)  
申し込み先着 締め切り10月20日(金)



弘前大学大学院保健学研究科 地域連携推進室  
〒036-8564 弘前市本町66-1

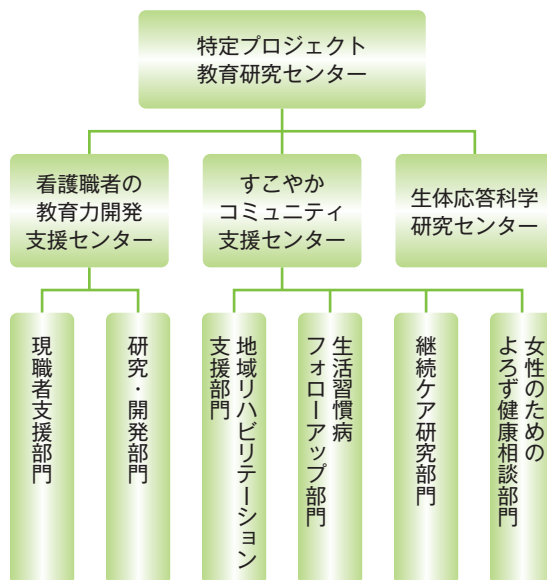
ホームページ：http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~nurse/support\_01.html

## 現職者支援部門とは

近年医療機関においては入院患者さんの高齢化や在院期間の短縮化が進んでいます。これにより、患者さんが退院後にも自己管理を継続できるよう、看護職には退院後を視野に入れた患者指導が求められるようになりました。そのために看護職には患者指導を行うための教育力が、より一層必要となって参りました。

看護職者の教育力開発支援センターは、看護職者の効果的な患者指導方法や継続教育について研究・支援することを目的に平成17年度にスタートしました。センターは現職者支援部門と研究・開発部門の2部門から構成されています。

現職者支援部門では現場の看護職者と協働・連携しながら、看護職者の行う患者指導スキル向上のための取り組みを行っています。

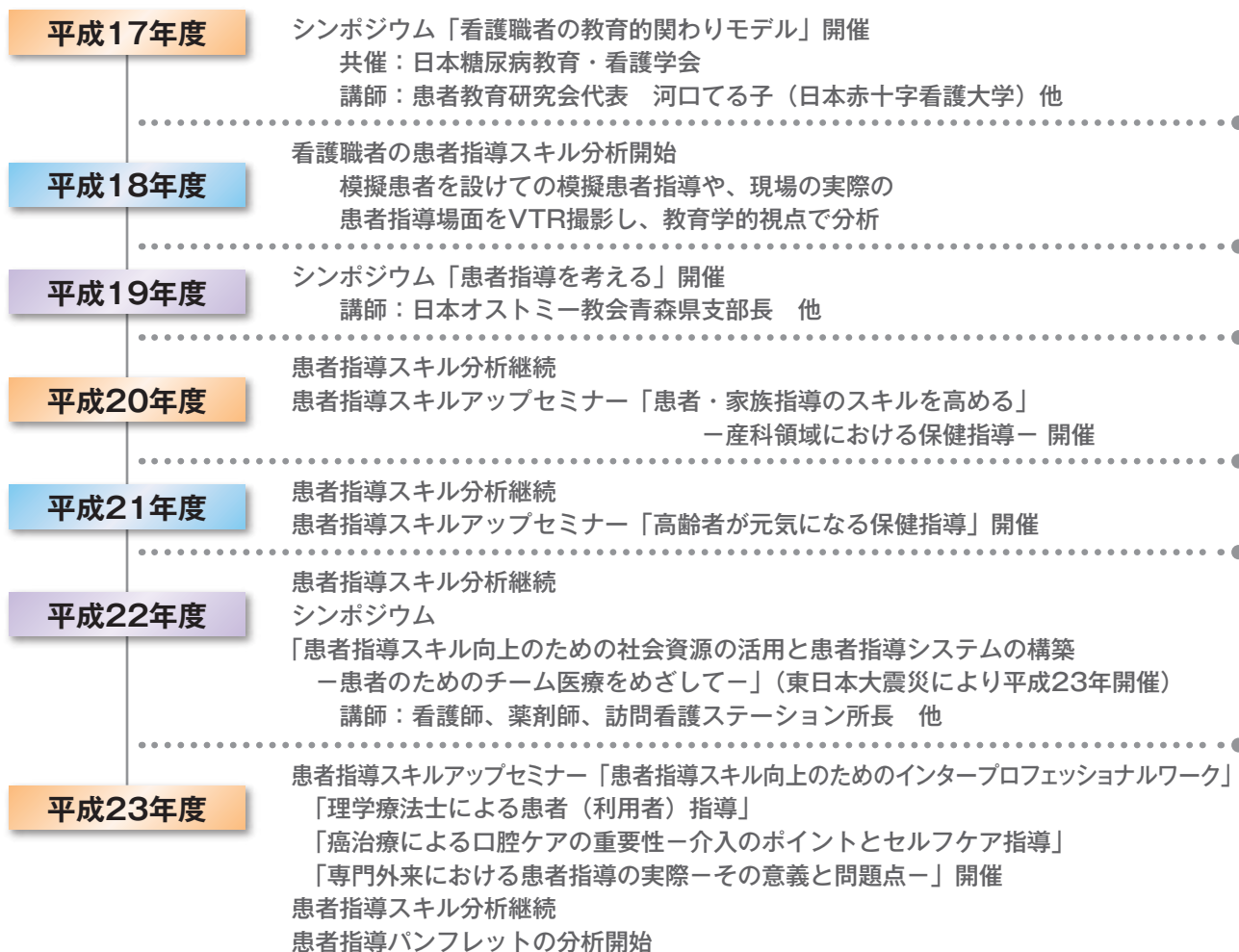


弘前大学大学院保健学研究科  
特定プロジェクト教育研究センター  
組織図

## 事業目的・概要

### 目的：看護職者の患者指導スキル向上への支援

- ◆ 教育力向上を目指した患者指導スキルアップセミナーの定期開催
- ◆ 現職看護師の患者指導スキルの分析とフィードバック
- ◆ 現行の患者指導パンフレットの分析



## 各種セミナーの開催

患者指導は、看護師のみならず、保健師や助産師、栄養士や薬剤師など様々な職種のスタッフが連携して行います。他職種の方々がどのようなスキルを用いて患者指導を行っているのか、各職種の立場から患者指導の実際をご紹介いただき、インタープロフェッショナルワークについて考えています。平成23年度は理学療法士、歯科衛生士、医師による患者指導を通して効果的な指導方法について考えるセミナーを開催しました。詳細はホームページをご参照下さい。



セミナーでの意見交換



講演に聞き入る参加者



シンポジウム



みんなで教材作りを体験



口腔ケアのプロの技を熱心に学んでいます

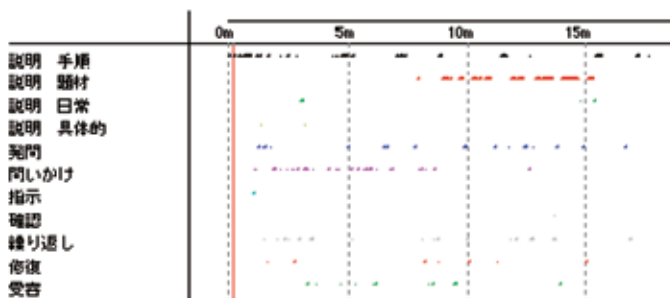
## 行動コーディングシステムを用いた指導スキルの分析

### 行動コーディングシステムとは？

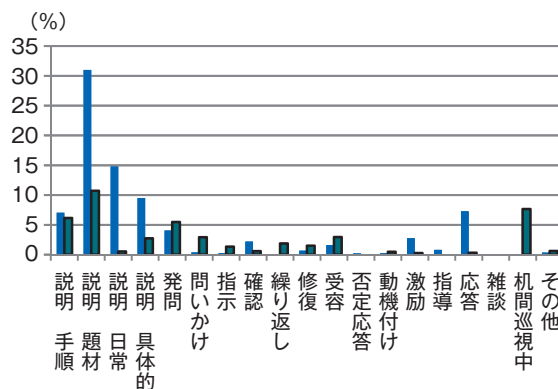
行動分析を目的とした、解析装置です。

録画した患者指導場面をパソコン上で再生し、画像を見ながら、発言内容に対応するキーを押すことで、生起・持続時間を記録し、記録後に出現頻度や出現率などの算出を行うことができます。

例えば、「手順に関する説明」をした時に、対応するキーを押すと、下図のように「説明 手順」の出現時間が記録されます。



行動コーディングシステムを用いた解析結果例



1回の指導場面における、各発言内容の出現率

自分の行う患者指導の特長が把握でき、スキル向上につながります。

指導スキル分析をご希望の方は、随時募集しております。

## 患者指導パンフレットの分析と改良

入院患者さんの在院期間が短縮されたことに伴い、自宅でのセルフケアがますます重要となってきました。医療機関では患者指導用パンフレットが沢山作成されています。患者さんにとってより理解しやすいものを目指して看護職の皆さんはご苦労しているのではないのでしょうか？

現職者支援部門では患者さんにとってわかりやすいパンフレットを作成するために画像や動画を取り入れた患者指導の教材や方法の開発に取り組んでいます。



## 成果発表

現職者支援部門では、現場の看護職者と協働・連携しながら活動しています。その活動成果を学会で発表しています。これまでの研究成果は以下の通りです。

タイトル	学術集会名	開催地	開催年月日
看護職者の患者指導スキルの分析・評価 －糖尿病、心臓病教室の例から－	第33回日本看護 研究学会学術集会	盛岡市	2007年7月28－29日
看護職者の患者指導スキル開発に関する一考察 －2指導場面例の分析－	第27回日本看護 科学学会学術集会	東京都	2007年12月7－8日
看護師の患者指導スキルの教育学的検討 －1事例の模擬患者指導場面の分析－	第28回日本看護 科学学会学術集会	福岡市	2008年12月13－14日
看護師の患者指導スキルの特徴に関する教育学的検討 －模擬患者指導場面の事例分析から－	第36回日本看護 研究学会学術集会	岡山市	2010年8月21－22日
集団患者指導において説得効果を高める非言語的要因 の解析－模擬患者指導の事例分析から－	第30回日本看護 科学学会学術集会	札幌市	2010年12月3－4日
看護師の患者指導スキルの特徴に関する教育学的分析 第1報：現職教員との比較－言語的スキル－	第31回日本看護 科学学会学術集会	高知市	2011年12月2－3日

## 組織構成

### 部門長

保健学研究科 健康支援科学領域・健康増進科学分野

教授 西沢 義子

### 組織構成員

保健学研究科 健康支援科学領域・障害保健学分野

教授 工藤せい子

保健学研究科 健康支援科学領域・健康増進科学分野

助手 會津 桂子

保健学研究科 健康支援科学領域・健康増進科学分野

助手 安杖 優子

医学部附属病院 看護部

副看護部長 小林 朱実

医学部附属病院 看護部

看護師長 垣内 悦子

医学部附属病院 看護部

皮膚排泄ケア認定看護師・副看護師長 鎌田恵里子

## 連絡先

弘前大学大学院保健学研究科

TEL,FAX : 0172-39-5940,5941 E-mail: aizu@cc.hirosaki-u.ac.jp

ホームページ : [http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~nurse/support\\_01.html](http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~nurse/support_01.html)



HIROSAKI  
UNIVERSITY